

「Let's go! 30 年頑張ってきたその先へ」

理事長 山本恵由美



あけましておめでとうございます

本会は 1997 年、前年に初開催された「森林ボランティアリーダー養成講座」を受講したメンバーに声をかけ、立ち上げました。受講前までは森林の問題は所有者と行政の責任において解決される問題という認識でしたが「森林の保全は全市民で取り組む課題である」と、意識は「自分事」へと変わって行き「森林づくりは未来を創る!」と信じ、覚悟&情熱でスタートを切りました。当初は共有林を借りて始まり、活動内容の充実やシステムづくりに邁進!

年々メンバーも増え続け、将来は山林を所有し、各部会(間伐・里山・クラフト・環境教育研究)それぞれのコンセプトを一堂に結集して、森づくりのモデルとなるような山林の再生ができればと思い、立地や面積など理想的な山林を求めて各地を探して回った時期もありました。産業として成り立たなくなった林業の衰退から山林放置が進み、次代の所有者の森林に対する関心の低下の中にあっても活動場所を譲り受けることはまだ容易ではない時代・・・。

改めて「日本の森をどう守り育てていくのか」を熟考した時、1つの拠点で自己満足的な活動に留まるより、里山で暮らす地域住民と手を携えて、目標に向かって助け合う、言わば公共空間の中で汗を流していき、市民との繋がりを重視することが真に未来を創造することになるのではないのかと再考し、現在のあらゆる地域を支援する『地域貢献プロジェクト』の例会に至ったのです。例会ほか次々に立ち上げた部会が外に活動機会を得ることによって、それらのスキルの結晶が学校、行政、企業、市民活動団体からの様々な依頼に応える力になり、多様な森づくりの可能性をふくみ、進化を続けることができています。

森づくりは地域づくり、人づくり、未来づくりになり、気がつけば 30 年を迎える長い歴史を誇る大きな会に成長を遂げました。新旧会員の皆様に支えられて、楽しい活動が継続できることは本当にありがたいことです。本会は入会者も多く、今後の組織の運営に携わる人財を大いに期待しています。

「青雲の志」を抱き、駆けめぐる馬のごとく気高く、凛々しく Let's go!
30 年のその先へ!

